

# 1次関数

年 組 名前

/ 8

■ グラフが次の条件を満たす1次関数の式を求めなさい。

① 傾きが6で、グラフが点 $(-7, -53)$ を通る

② 傾きが $-2$ で、グラフが点 $(4, -6)$ を通る

③ 傾きが7で、グラフが点 $(-1, -6)$ を通る

④ 傾きが $-5$ で、グラフが点 $(8, -43)$ を通る

⑤ 傾きが4で、グラフが点 $(-2, 4)$ を通る

⑥ 傾きが3で、グラフが点 $(6, 13)$ を通る

⑦ 傾きが $-1$ で、グラフが点 $(-3, -3)$ を通る

⑧ 傾きが $-8$ で、グラフが点 $(5, -30)$ を通る

# 1次関数

年 組 名前

/ 8

■ グラフが次の条件を満たす1次関数の式を求めなさい。

① 傾きが6で、グラフが点(-7, -53)を通る

傾きが6であるから、  
この1次関数を  $y = 6x + b$  と表すことができる。  
これが点(-7, -53)を通るので、  
 $-53 = 6 \times (-7) + b$   
これを解くと、 $b = -11$   
よって、 $y = 6x - 11$

$$y = 6x - 11$$

② 傾きが-2で、グラフが点(4, -6)を通る

傾きが-2であるから、  
この1次関数を  $y = -2x + b$  と表すことができる。  
これが点(4, -6)を通るので、  
 $-6 = -2 \times 4 + b$   
これを解くと、 $b = 2$   
よって、 $y = -2x + 2$

$$y = -2x + 2$$

③ 傾きが7で、グラフが点(-1, -6)を通る

傾きが7であるから、  
この1次関数を  $y = 7x + b$  と表すことができる。  
これが点(-1, -6)を通るので、  
 $-6 = 7 \times (-1) + b$   
これを解くと、 $b = 1$   
よって、 $y = 7x + 1$

$$y = 7x + 1$$

④ 傾きが-5で、グラフが点(8, -43)を通る

傾きが-5であるから、  
この1次関数を  $y = -5x + b$  と表すことができる。  
これが点(8, -43)を通るので、  
 $-43 = -5 \times 8 + b$   
これを解くと、 $b = -3$   
よって、 $y = -5x - 3$

$$y = -5x - 3$$

⑤ 傾きが4で、グラフが点(-2, 4)を通る

傾きが4であるから、  
この1次関数を  $y = 4x + b$  と表すことができる。  
これが点(-2, 4)を通るので、  
 $4 = 4 \times (-2) + b$   
これを解くと、 $b = 12$   
よって、 $y = 4x + 12$

$$y = 4x + 12$$

⑥ 傾きが3で、グラフが点(6, 13)を通る

傾きが3であるから、  
この1次関数を  $y = 3x + b$  と表すことができる。  
これが点(6, 13)を通るので、  
 $13 = 3 \times 6 + b$   
これを解くと、 $b = -5$   
よって、 $y = 3x - 5$

$$y = 3x - 5$$

⑦ 傾きが-1で、グラフが点(-3, -3)を通る

傾きが-1であるから、  
この1次関数を  $y = -x + b$  と表すことができる。  
これが点(-3, -3)を通るので、  
 $-3 = -1 \times (-3) + b$   
これを解くと、 $b = -6$   
よって、 $y = -x - 6$

$$y = -x - 6$$

⑧ 傾きが-8で、グラフが点(5, -30)を通る

傾きが-8であるから、  
この1次関数を  $y = -8x + b$  と表すことができる。  
これが点(5, -30)を通るので、  
 $-30 = -8 \times 5 + b$   
これを解くと、 $b = 10$   
よって、 $y = -8x + 10$

$$y = -8x + 10$$